

AWS Client VPNは、AWSとオンプレミスネットワークの両方のリソースに安全にアクセスするためにリモートワーカーが使用するフルマネージドリモートアクセスVPNソリューションです。完全に弾力性があり、需要に応じて自動的にスケールアップまたはスケールダウンします。アプリケーションをAWSに移行する場合、ユーザーは移行前、移行中、移行後に同じ方法でアプリケーションにアクセスします。ソフトウェアクライアントを含むAWSクライアントVPNは、OpenVPNプロトコルをサポートしています。

AWSクライアントVPNを使用したリモートアクセス (14:44)

利点

高度な認証

多くの組織では、VPNソリューションからの多要素認証（MFA）とフェデレーション認証が必要です。AWS Client VPNは、これらおよびその他の認証方法をサポートしています。

弾性

従来のオンプレミスVPNサービスは、それらを実行するハードウェアの容量によって制限されます。AWS Client VPNは、ユーザーの需要に基づいて柔軟にスケールアップまたはスケールダウンする従量課金制のクラウドVPNサービスです。

リモートアクセス

オンプレミスVPNサービスとは異なり、AWSクライアントVPNを使用すると、ユーザーは単一のVPN接続を使用してAWSおよびオンプレミスネットワークに接続できます。

完全に管理

AWS Client VPNは、単一のコンソールからすべての接続を監視しながら、デプロイ、容量プロビジョニング、およびサービスの更新を自動的に処理します。

AWSクライアントVPNのユースケース

リモートアクセスをすばやく拡張

予期しないイベントが発生すると、多くの従業員がリモートで作業する必要性が生じる可能性があります。これにより、VPN接続とトラフィックが急増し、ユーザーのパフォーマンスや可用性が低下する可能性があります。AWS Client VPNは弾力性があり、ピーク需要を処理するために自動的にスケールアップします。スパイクが経過すると、スケールダウンするため、未使用の容量に料金を支払う必要はありません。

移行中にアプリケーションにアクセスする

AWS Client VPNは、オンプレミスとAWSの両方のアプリケーションへの安全なアクセスをユーザーに提供します。これは、アプリケーションがオンプレミスの場所からクラウドに移動するクラウド移行中に役立ちます。AWS Client VPNを使用すると、ユーザーは移行中または移行後にアプリケーションにアクセスする方法を変更する必要がありません。

認証およびMDMシステムと統合する

AWS Client VPNは、AWS DirectoryServicesを使用したMicrosoftActive Directoryによる認証、証明書ベースの認証、およびSAML-2.0を使用したフェデレーション認証をサポートし、AWSが提供するOpenVPNクライアントソフトウェアを使用するときにこれらのシナリオを容易にします。AWS Client VPNは、モバイルデバイス管理（MDM）ソリューションと連携して、ポリシーに準拠していないデバイスを拒否します。